

特別活動(LHR)学習指導案

日時 令和5年1月31日(火) 4限目

場所 A棟5階 2年5組教室

対象 家政科2年5組(女子27名, 男子3名)

授業者 大給真衣

1. 主題

「社会人として必要な力を考える」

2. 主題設定の理由

高校2年生も終盤を迎え、ほとんどの生徒が、進路についての希望は決まっているものの、具体的な進学先や就職先は決まっていない。しかし、将来的にいずれ社会人となるのは同じであるため、進級を目前にした今、まずは社会人になるにあたり自分に必要な力を考えることで、3年生の0学期といわれるこの時期を、充実したものにしてほしいと思いこの主題を設定した。

3. 生徒の実態

全体的に明るく、授業にも積極的に取り組む生徒が多い。また、誰とでも話し合い活動を行うことが可能なクラスであり、授業態度も概ね良好である。2年生の2学期にインターンシップを経験し、社会や働くことについての興味関心は高まっているが、普段の授業や課題の取り組み状況が“自分の将来につながっている”ということに気づいていない生徒や、分かってはいるが具体的な行動に移せない生徒も見受けられる。

4. 本時の実際

(1) 本時の目標

「将来社会人になるにあたり、今の自分に何が足りないかを考え、今後の目標を立てよう」

(2) 本時の展開

段階	学習活動	時間	形態	指導上の留意点	備考
導入	1. 事前アンケートの結果を見る。	5	班	・事前に班を作っておく。 ・クラスの進路選択状況をスライドで示し、進路についての興味関心を高める。	パワーポイント
	2. 本時の目標を確認する。			・本時の目標を提示する。	ワークシート
	将来社会人になるにあたり、今の自分に何が足りないかを考え、今後の目標を立てよう。				

展 開	3. タブレットを使用し、事前課題で考えた「インターンシップから学んだこと」を班で共有する。	5	班	・ジャムボードの付箋機能を利用し、自分の意見を記入させる。その際、誰の意見かわかりやすくするために、班内で付箋の色分けをする。	タブレット ワークシート
	4. 「社会人として必要な力」をテーマに、班内で出た意見をグルーピングする。	10	班	・職業は違っていても社会人として必要な力は同じだと言うことに気づかせる。 ・別の班同士でグルーピングできるものがないか、机間巡視等で確認する。	タブレット
	5. 4で考えた「社会人として必要な力」を各班ごとに発表する。	12	班	・発表内容が重複しないよう発表の工夫を工夫する。 ・聞くだけにならないように発表後 30 秒程度メモの時間をつくる。	タブレット ワークシート
	6. 「企業が求める人材像」について知り、4で考えたものと比較する。	5	個人	・「企業が求める人材像」を提示し、4で考えたものと比較させる。	パワーポイント
ま と め	7. 本時の学習を振り返り、社会人になるにあたり今の自分に何が足りないかを考え、今後の目標を記入する。	5	個人	・本時の学習を振り返り、社会人になるにあたり今の自分に何が足りないかを考えさせる。 ・身につけるための実践目標を具体的に記入させる。	ワークシート
	8. 7の目標の中から特に意識して実践したいものを宣誓用紙に記入する。	5	個人	・ワークシートとは別に宣誓用紙に記入することで、実践を促す。	宣誓用紙 ペン
	9. 自己評価を記入する。	3	個人	・自己評価をさせ、本時のまとめをする。	ワークシート

5. 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会人として必要な力が何であるかを理解している。	・インターンシップを振り返り、社会人として必要な力を考えることができる。 ・他者の意見を尊重しながらグルーピングができる。	・積極的にグループ活動に参加し、考えを深めようとしている。 ・今の自分に足りないものを考え、身につけようとしている。